

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	脇田 佐知子	学校名	名古屋市立植田東小学校
教科（科目）・領域	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	5年1～4組（126名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2020年9月～2021年10月（23時間）		

【単元構成】

単元名	食とわたしたち～地球的な視野で食について考えよう（全49時間）		
1学期	小単元①（全10時間） 世界の食や身近な食と世界のつながりを調べよう		
2学期	小単元②（全23時間） 地域のお悩み解決プロジェクト ～食品ロス問題を解決しよう～	小単元③（全8時間） 食品ロスについてオーストラリアの小学生と交流しよう	
3学期	小単元④（全8時間） これからの日本の食や自分の食生活のあり方について意見文で表現しよう		

【実施概要】

1. 小単元名（活動名）：地域のお店のお悩み解決プロジェクト～食品ロス問題を解決しよう～					
2. 実践する教科・領域： 総合的な学習の時間	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 小単元の目標（評価規準を意識して設定）： 地域のを扱うお店の食品ロス問題の探究から、食品ロスの実態や食品ロスの問題が地球規模の様々な課題とつながっていること、問題を解決するために様々な取り組みが行われていることを知るとともに、自分たちができる解決策をSDGsの視点やお店の人の願いをもとに考え、実行することができる。					
5. 小単元の評価規準	①知識及び技能	a.食品ロスの実態や食品ロスの問題は地球規模の様々な課題とつながっていること、課題解決の必要性、問題を解決するために様々な取り組みが行われていることを理解している。 b.インタビューやアンケートによる調査活動を目的や対象に応じて、適切に実施している。			
	②思考力、判断力、表現力等	c.課題解決のための計画書は、解決の見通しをもって、何を指し、そのために何をするのかを意識している。 d.お悩み解決のための活動はSDGsの視点やお店の願い等を結びつけて、多面的、多角的に判断して考えている。			
	③学びに向かう力	e.お悩み解決のための活動では、環境に配慮し、お店の願いをかなえて、食品ロスを減らすためにできることを見つけて関わろうとしている。 f.お悩み解決のための活動では、自他の考えのよさを生かしたり、役割分担をしたりして、協働して課題解決に取り組んでいる。			

6.	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>食品ロスとは、世界で年間13億トン以上、日本でも年間600万トン以上出ておりSDG12にもその削減が記されている地球規模の課題である。地域の食を扱うお店や現任校の給食からも食品ロスは出ており、グローバルな課題でもありローカルな課題でもある。</p> <p>そこで、子ども達が、地域の食を扱うお店の食品ロスの問題を解決するプロジェクトに取り組むことで、食品ロスについて知るとともに、自分自身の食生活やライフスタイルを見つめ直す機会とすることができる。また、課題解決活動に参画することを通して、自分自身の能力に気付いたり、これからも地域や社会に関わっていこうとする気持ちを高めたりすることができる。と考える。</p> <p>【児童／生徒観】</p> <p>学習に対して意欲的に取り組む児童が多く、自分の考えをもつことができている。しかし、それを他者に伝えたり、実行したりすることには消極的な児童が多い。また、自分から行動することが得意ではない児童、指示を待ってから行動する児童もいる。</p> <p>給食については、野菜嫌いな児童が多く、野菜がメインの日は残食が多くなる。1学期に取り組んだ「世界の食や身近な食と世界のつながりを調べよう」では、食事の仕方、おやつ、有名な料理などに興味をもっている児童が多い。世界の食の課題について一部の児童が取り上げているが、多くの児童にとっては関心が低いものとなっている。</p> <p>【教材観】</p> <p>食は子どもにとって身近なものであり、興味のあるものである。そこで、1年を通して、地球的な視野で食に関わっていくことを通して、自分たちの食に対する見方が変わり、ライフスタイルや食生活を見直すきっかけになると考える。</p> <p>食品ロスは、日本や世界の課題であるだけでなく、地域でも起こっている課題でもある。また、食品ロスは、日本が様々な食料を外国から輸入していること、食料輸入にはエネルギーの問題や温室効果ガスの排出による地球温暖化の問題があること、輸入国の環境破壊や人権の問題にも関連していることなど、地球規模の様々な問題とのつながりについても学習することができる。一方、食の安全や便利さなど簡単には解決することが難しい部分もある。</p> <p>地域の食を扱うお店の食品ロスの問題を解決する活動に取り組むことを通して、自分たちの食生活が世界とつながっていること、自分たちの行動が身近な地域や世界に影響を与えていることに気付くことができると考える。</p> <p>【指導観】</p> <p>社会科で1学期には米作りと農業、水産業について学習し、2学期は、これからの食料生産について学習をする。社会科で学習したことを総合的な学習の時間とつなげていきたい。</p> <p>地域のお店のお悩み解決プロジェクトとしてプロジェクト型で学習に取り組んでいくことで、子ども達が興味をもって、探究的に課題を解決していくことができるようにする。</p>
----	---

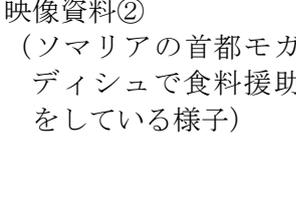
7. 小単元計画（全23時間）

時	ねらい	学習活動	資料など	評価方法	評価
1・2 課題設定 本時	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスの問題の解決の必要性に気づき、地域の食を扱うお店の課題解決に関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 飢饉や貧困により食料不足に困っている子どもの写真と映像資料を見る。 食品ロスの現状を知る。 食品ロスの因果関係図をかく。 食品ロスの問題を放っておくとどうなるか派生図をかく。 食品ロス問題解決のためにできることをあげる。 地域のお店の困っているこ 	<ul style="list-style-type: none"> 写真映像資料入りスライド「ソマリアでの炊き出し」(ワールドビジョン)(WFP)「バンダラデシュ ミナちゃん」(ワールドビジョン) 	1枚ポートフォリオワークシート	a e

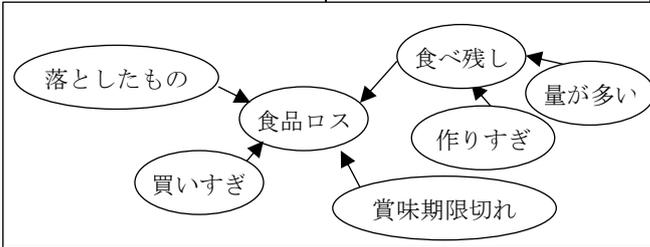
		<p>とを知るための方法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関わるお店を決める。 			
3～5 情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食を扱うお店の食品ロスの実態や工夫について知るための質問を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートで聞きたいことを出す。 ・ 質問を分類する。 ・ アンケートを作成する。 ・ アンケートの依頼の電話をする。 ・ 食を扱うお店に郵送でアンケートを出す。 		ワークシート アンケート	b
6 情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品ロスについて様々な角度から知る ・ SDGs や日本、外国での食品ロス削減に向けての取り組みを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本やパンフレット、映像資料、教師の作成した資料から情報を集める。 ・ SDGs のゴール 12 と食品ロスの問題とのつながりを見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本 ・ パンフレット「ぼくら地球調査隊「世界の食料」 「どうなっているの？世界と日本」 ・ 映像資料「水と世界」を知る映像」ルワンダの子どもの一日 	ワークシート	a
7・8 課題設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品ロス削減に対する工夫や苦勞、食品ロスの実態について知る。 ・ 具体的な問題点を見だし、今後の活動への見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの内容を確認する。 ・ お店の良いところ、工夫、食品ロスにより困っていること、その原因を課題シートに書き出す。 ・ 課題を把握する。 ・ 今後の活動の計画表を作る。 		課題シート 計画表	c
9・10 情報収集 整理分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べたり、考えたりしていく必要があることを考える。 ・ お店の方の願いを知る。 ・ 知ったことをもとに、様々な視点で解決策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お店の人とやりとりをする。 ・ 解決のための具体的な案を出す。 ・ 案を SDGs の視点から見る。 ・ 案をお店の願いから見る。 ・ 案をお客さんの立場から見る。 		解決策シート	c d
11 まとめ 表現 課題設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容が伝わるように解決案を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解決案をクラスの仲間やお店の人に説明する。 ・ 他のグループの提案に質問やアドバイスをする。 ・ お店の人にアドバイスをもらう。 		解決策シート	c d
12 13 情報収集 整理分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の目的や根拠を明らかにして解決策を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アドバイスをもとに、解決案を修正する。 ・ 解決策をお店に伝える。 		解決策シート	c d
14 ～ 16 まとめ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のお店のお悩み解決のための活動に協働して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お悩み解決活動の準備をする。 ・ お店の人とやり取りする 		活動の様子 作成したもの	e f

17 ～ 19	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動の意義付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 解決策を実行した結果を振り返る。 		振り返りシート 1枚ポートフォリオ	a e
---------------	--	--	--	----------------------	--------

8. 本時の展開 (概略)
 本時のねらい: 飢えの現状、食品ロスの原因や食品ロスの問題と世界の課題とのつながり、自分自身の関わりについて知り考えることを通して、食品ロスの問題の解決の必要性を認識するとともに、課題解決のためにできることを考え、地域の食を扱うお店の食品ロスの問題解決に向けての意欲を高める。

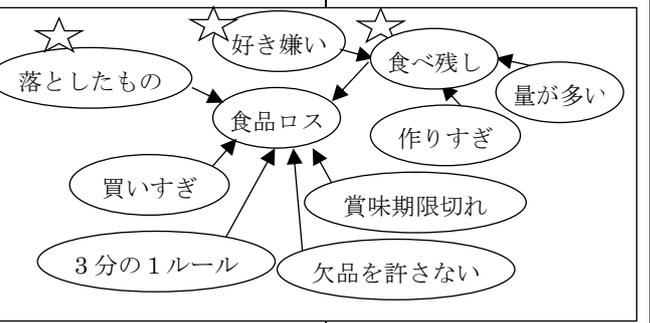
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 3分	1. 1学期の学習を振り返る。 「世界の食には、楽しい面だけではなく、課題があることに気付いていた子もいましたね。」「2学期はその課題についても勉強していきましょう。」	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の学習のふり返りを書いたフラッシュカードを提示する。 	
16分 (2分)	2. 世界の食料事情と日本の食品ロスについて知る。 (1) 写真資料①を見てどこで、何をしているところか予想する。 「12歳の少女ミナはどこで何をしているのでしょうか。」 <ul style="list-style-type: none"> 何かを拾っている。 外にいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 背景を隠し、どこにいるのか、予想を立ててから答えられるようにする。 	写真資料① (ごみを拾う子ども) 
(2分)	(2) 映像資料①を見る。 「皆さんと年の変わらない子どもが食べ物を得るためにこのような苦勞をしているのです。」	<ul style="list-style-type: none"> 質問の答えとして、動画を見せるようにする。 	映像資料① (バングラデシュで貧困のためごみを拾い売っている少女) 
(2分)	(3) 写真資料②を見て、子ども達が何をしているのか予想する。 「子ども達は何をしているのでしょうか。」 <ul style="list-style-type: none"> 何かを見学している。 みんなボールや鍋をもっているから、何かをもらいに来ている。 水・食料をもらいに来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が手に持っている物を隠し、その後それを見せることにより、持っている物がヒントになることを伝える。 同年代の子ども達が、食べ物を十分に食べられていない現状に気付けるようにする。 	写真資料② (配給を待つ子ども) 
(2分)	(4) 映像資料②を見る。 「1日1回行われる、食料援助の配給をもらいに来ているのです。」 「ひどいきんにより、作物がとれなくて食料に困っているのです。」 「飢えの原因は、きんだけでなく、貧しいことにもあります。」 「バングラデシュやソマリアの全ての人が飢えている訳ではありません。写真や映像で見た飢えている子ども達は、飢えている人々の一部です。」	<ul style="list-style-type: none"> 飢餓の現状、食料援助の量、食品ロスの量について知る。 	映像資料② (ソマリアの首都モガディシュで食料援助をしている様子) 
(8分)	(4) 飢えの状況、食料援助の量、食品ロスの量について知る。 「世界では、どのくらいの人が飢えているのでしょうか。」 「食料援助は1年でどのくらい配られているのでしょうか。」	<ul style="list-style-type: none"> 飢餓の現状、食料援助の量、食品ロスの量に関して知る中で、飢えている人がいる一方で、食べ物を捨てていることの問題に気付 	

<p>展開 1分</p> <p>3. めあてを確認する。</p> <p>6分</p> <p>4. 「食品ロスとは」に続くはじめの考えを書く。 「食品ロスとはどのようなものだと理解したり、感じていたりしているのか今の考えを書きましょう。」</p> <p>19分 (7分)</p> <p>5. 食品ロスの問題の原因について考える。 (1) 個人で食品ロスの原因を付箋紙に書く。 「なぜ食品ロスが出てしまうのでしょうか。その原因となることを書きましょう。」 「どのような場所で、どのような場面で食べ物を捨てることになっていたのか思い出して考えてみましょう。」</p> <p>(10分)</p> <p>(2) グループで考えを共有する 「意見を言いながら、付箋を模造紙に貼りましょう。」 「同じ意見や似た意見は、近くに貼るようにしましょう。」 「食品ロスにつながるように矢印をかきましよう。」</p> <p>(5分)</p> <p>(3) 学級全体で共有し、様々な場面における食品ロスの問題の原因について知る。 スーパー・コンビニから出る食品ロス（消費賞味期限切れ、3分の1ルール、欠品を許さない）、レストラン、給食から出る食品ロス（食べ残し・好き嫌い）、家庭から出る食品ロス（消費・賞味期限切れ・作りすぎ・食べ残し）など、出てこなかった内容について取り上げる。</p> <p>(2分)</p> <p>(4) 食品ロスの問題と自分とのかかわりについて気づく。 「自分もしている、してしまったなど関係のあるものに☆をかきましよう。」</p>	<p>「日本の食品ロスは1年でどのくらいでしょう。」</p> <p>食品ロスの問題について考えよう。</p> <p>「食品ロスとは」に続くはじめの考えを書く。 「食品ロスとはどのようなものだと理解したり、感じていたりしているのか今の考えを書きましょう。」</p> <p>食品ロスの問題の原因について考える。 (1) 個人で食品ロスの原因を付箋紙に書く。 「なぜ食品ロスが出てしまうのでしょうか。その原因となることを書きましょう。」 「どのような場所で、どのような場面で食べ物を捨てることになっていたのか思い出して考えてみましょう。」</p> <p>(2) グループで考えを共有する 「意見を言いながら、付箋を模造紙に貼りましょう。」 「同じ意見や似た意見は、近くに貼るようにしましょう。」 「食品ロスにつながるように矢印をかきましよう。」</p> <p>(3) 学級全体で共有し、様々な場面における食品ロスの問題の原因について知る。 スーパー・コンビニから出る食品ロス（消費賞味期限切れ、3分の1ルール、欠品を許さない）、レストラン、給食から出る食品ロス（食べ残し・好き嫌い）、家庭から出る食品ロス（消費・賞味期限切れ・作りすぎ・食べ残し）など、出てこなかった内容について取り上げる。</p> <p>(4) 食品ロスの問題と自分とのかかわりについて気づく。 「自分もしている、してしまったなど関係のあるものに☆をかきましよう。」</p>	<p>るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> おにぎりに換算し、その量の多さや食べられるものなのに捨てている問題点にも気づけるようにする。 食糧援助よりも食品ロスの量が多いこと <p>間違っていないので、現時点での考えを書くようにする。</p> <p>食品ロスについて全く分からない児童には、食べられるものを捨てていることであることを伝える。</p> <p>グループで、それぞれに意見を言ってから、模造紙に貼り出すようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 付箋紙 ペン 模造紙
---	--	--	--

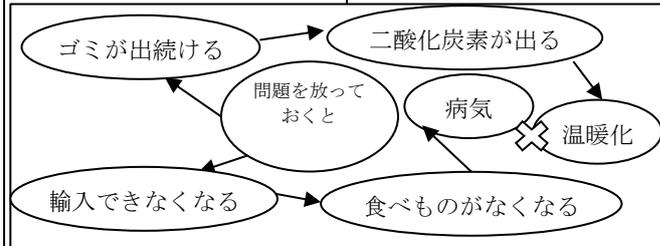
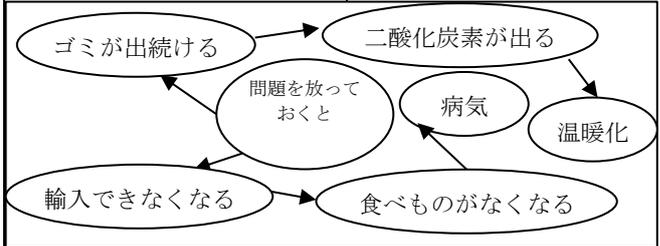


貼ったものを動かし、食品ロスの原因につながるようにする。

他のグループの模造紙を見て回り、自分のグループにない意見を伝え合い、書き足すようにする。



<p>14分 (9分) (2分)</p>	<p>6. 食品ロスの問題を放っておくとどうなるのか考える。 (1) クラス全体で派生図をかく。 「食品ロスを続けるとどうなるでしょうか。」 (2) 問題を放っておいた時の最悪の事態について考える。 「黒板にあるもので、最悪の事態だと思ふものに×印をかきましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に書き出すようにする。 																	
<p>13分 (10分) (3分) 8分 (2分) (1分)</p>	<p>7. 食品ロス問題解決のためにできることを考える。 (1) 学級全体でできることを表に書く。 「食品ロス問題解決のためにどのようなことができると思いますか。」</p> <table border="1" data-bbox="240 1211 807 1485"> <thead> <tr> <th></th> <th>自分ひとりで</th> <th>学校や家庭に</th> <th>地域のお店や地域の人の</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>すぐ</td> <td>食べ残さない 買いすぎない</td> <td>家族に食べ残しをしないように呼びかける</td> <td></td> </tr> <tr> <td>なんとか</td> <td>おかわりをする皮を取りすぎない</td> <td>クラス給食を残さないように呼びかける</td> <td></td> </tr> <tr> <td>がんばれば</td> <td>野菜を育てる 生ごみでたい肥を作る</td> <td>学校みんなに給食を残さないように呼びかける</td> <td>地域の人に呼びかける</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 表から分かることを話し合う。 「表を見て、どのようなことが分かりますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分ひとりでは、すぐにできることがありそう。 自分たちにやれることがいろいろあると思う。 地域のお店や地域の人にはすぐできることがなかなかなさそう。 <p>8. 今後の活動について知る。 (1) 地域のお店が食品ロスでどのようなことに困っているのか予想する。 「どんなことに困っていると思いますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さんの食べ残しが多い。 売れ残りがある。 <p>(2) お店のお助けをするためにアンケート</p>		自分ひとりで	学校や家庭に	地域のお店や地域の人の	すぐ	食べ残さない 買いすぎない	家族に食べ残しをしないように呼びかける		なんとか	おかわりをする皮を取りすぎない	クラス給食を残さないように呼びかける		がんばれば	野菜を育てる 生ごみでたい肥を作る	学校みんなに給食を残さないように呼びかける	地域の人に呼びかける	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスの問題からは良いことが起こらないことから、解決の必要性があることに気付くことができるようにする。 どのようなことができるのか自分、学校や家庭、地域のお店の視点と、すぐ、なんとか、がんばればの視点で考えるようにする。 個人や家庭、学校では、すぐにできることがありそうだが地域のお店は、お客さんを相手にしているため、すぐには難しいことに気付くことができるようにする。そのことから、みんなで協力して、地域のお店のためにできることを考えていこうと意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動表
	自分ひとりで	学校や家庭に	地域のお店や地域の人の																
すぐ	食べ残さない 買いすぎない	家族に食べ残しをしないように呼びかける																	
なんとか	おかわりをする皮を取りすぎない	クラス給食を残さないように呼びかける																	
がんばれば	野菜を育てる 生ごみでたい肥を作る	学校みんなに給食を残さないように呼びかける	地域の人に呼びかける																



(5分)	<p>を取ることを知る。</p> <p>(3) 関わりたいお店を選ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どこのお店でもよいのか、関わりたいお店があるのか調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査の紙
<p>まとめ</p> <p>10分</p> <p>(5分)</p>	<p>9. 本時のまとめと振り返りをする。</p> <p>(1) 今日の学びについて振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1枚ポートフォリオの書き方を説明し、本時の振り返りを書くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1枚ポートフォリオ
(3分)	(2) ふりかえりの内容をグループで共有する。	<ul style="list-style-type: none"> 最初に話す人だけを決め、そこからは指名をして順に話をするようにする。 	
(2分)	(3) 全体で共有し、次時からの活動を確認をする。 「次回は、地域の食を扱うお店の食品ロスの問題を解決するためのアンケートづくりをがんばりましょう。」	<ul style="list-style-type: none"> 全体で発表した児童の振り返りをもとに、次時の活動について、どのようなことをしていく必要があるのか確認する。 	
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <p>飢えの現状、食品ロスの原因や食品ロスの問題と世界の課題とのつながり、自分自身の関わりについて知り、考えることを通して、食品ロスの問題の解決の必要性を認識するとともに、課題解決のためにできることを考え、地域の食を扱うお店の食品ロスの問題解決に向けての意欲を高めることができているか。 (1枚ポートフォリオ、因果関係図、派生図、行動表から)</p>			
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>【関わった人や関係機関（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> フードバンク（セカンドハーベスト名古屋）の方：電話でのやりとり 地域の食を扱うお店：手紙、電話でのやりとり <p>【学習方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト型学習による探究的な学習を行う。 			
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>学校内では、5年生4クラスで実践を行う。</p>			

【自己評価】

12. 苦労した点	※学習活動が展開する中での苦労や、そこで見えてきた問題点を記入して下さい。
13. 改善点	※実践を再度実施することや、他の学校で追試する場合のことを想定して、改善点を示して下さい。
14. 成果が出た点	
15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	※この單元における学習者の変容が読み取れることを意識して下さい。記入者が文章記述を通して「このように変容した」と教師の言葉でその見取りを書くことも可能ですが、できる限り学習者本人の言葉や作品で示していただくことにより、具体性、説得性の高いものになります。
16. 授業者による自由記述	

【参考資料】

- 井出留美（2019）「食品ロスの大研究 なぜ多い？どうすれば減らせる？」PHP 研究所
 井出留美（2020）「捨てられる食べものたち」旬報社
 千葉保（2011）「食から見える「現代」の授業」太郎次郎社エディタス

千葉保 (2005) 「コンビニ弁当 16 万キロの旅」 太郎次郎社エディタス
ケイティ・ディッカー 原著 稲葉茂勝 翻訳・著 こどもくらぶ編集 (2015) 「信じられない「原価」
買い物で世界を変えるための本③食べ物」 講談社
JICA 資料 「ぼくら地球調査隊「世界の食料」」
mundi 特集 「食卓から世界を旅する」「食の不均衡にみんなで挑む」
農林水産省 (2019) 「知ってる？日本の食料事情～日本の食料自給率・食料自給力と食料安全保障～農
林水産省 https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/attach/pdf/panfu1-38.pdf
国連 WFPweb サイト (2019) 「数字で見る国連 WFP」
消費者庁消費者教育推進課 (2020) 「食品ロス削減関係参考資料」 消費者庁
[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/pdf/efforts_2003
31_0001.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/pdf/efforts_200331_0001.pdf)
国際 NGO ワールドビジョン 「バングラデシュ ミナちゃん」
<https://www.worldvision.jp/news/shien/20151130.html>
公益社団法人 A C ジャパン 「おむすびころりん、1 億個」
https://www.ad-c.or.jp/campaign/self_all/self_all_02.html